

# 昭和50年度 和歌山県文化功労賞

ひびの  
日比野

とも  
友 (号 友子)

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：熊本県

生 年：明治27年

## ◎業績及び経歴

大正2年熊本県女子師範学校を卒業後、各地にて教鞭をとるかたわら同5年歌誌「水甕」に入社され尾上柴舟氏に師事、昭和2年同人となる。同12年同誌選者となり、昭和25年和歌山文化協会発足と同時に文芸部委員となった。

また、同31年から朝日新聞・同37年から読売新聞短歌の選者として適格な指導を続けられ、本県歌壇の振興に格段の貢献をされている。昭和11年「生長の家」の講師として宗教界に入ったが、同32年からは家に在って、「水甕たちばな支社」を創設され、同社からも幾人かの歌人が育っている。同43年には、その指導の功が認められ尾上柴舟賞を受けた。

また同47年から2年間和歌山県歌人クラブの代表者となるほか、著書には、随筆「祖国を祈る」歌集「山茶花」「闘魚の意志」「飛翔」などがある。